

発行：ひとちなか市の環境を良くする会
 編集：広報委員会
 事務局：ひとちなか市環境保全課内
 住所：〒312-8501 ひとちなか市東石川 2-10-1
 TEL：029-273-0111 内線 3312, 3313
 FAX：029-272-2435
 E-MAIL:kankyo@city.hitachinaka.l(エル)g.jp

環境から版



人気集中!!
 バイオマスくんの色塗り

11月6日~7日

産業交流フェアに参加

実感！環境への関心の高まり

ひとちなか市産業交流フェアが11月6日(土)7日(日)の両日、ひとちなか市総合運動公園にて、200を超える企業・団体が参加して開催され、初日4万人、2日目5万人の来場者があつた。
 「ひとちなか市の環境を良くする会」は3分科会の活動報告と環境保全啓発の出展展示を行った。

開催両日は好天に恵まれ、開場と同時に来場者で賑わつた。本会の出展場所は「第17回みんなの消費生活展」エリアと「子どもプレコーナー」に挟まれ、室内中央通路に面していて来場者の立ち寄りも多かった。
 体験コーナーのキャラクター「バイオマスくん」の色塗りにはたくさんのお子もたちの参加があつた。
 クイズコーナーでは、展示パネルを見ながら担当者から説明を受け、解答できたので、参加者からはとても分かり易いと好評であつた。

11月役員会

平成23年度事業計画

四季を通じて連携行動を

来年度事業計画と予算案審議が11月4日午後5時半から、市第2



世界地図を利用した説明は、フー
 ドマイレージへの意識を深める議論
 が出来たなど、環境への関心が高い
 ことを実感するフェアとなつた。

分庁舎にて行なわれた。

3分科会の情報交換と活動連携を
 強化し、春夏秋冬を楽しみながら環
 境を良くする実践に、会員以外にも参
 加したくなる事業を目指すことにな
 った。

会員を募集しています

会員を募集しています。市内に在住、通
 勤、通学している方(個人又は家族)。
 市内で活動している団体、事業所。

- ・年会費(1口以上)
- 個人・家族会員 1口 500円
- 団体会員 1口 1,000円
- 事業所会員 1口 2,000円

本会 HP 管理者
 公募中!!
 応募は E-mail で

『ひとちなか市の環境を良くする会』は、市民、民間団体、事業者及び市が互いに協力し、より多くの市民や事業者が、身近な自然や環境を大切にする心を育むとともに、環境保全行動の定着を図るため活動しています。

具体的な活動を計画し実行するのは、ごみ問題、温暖化防止、自然環境の3つの分科会が中心となっています。より多くの市民や事業者が参加・行動できるような事業を行いたいと張り切っています。

活動のようす
温暖化防止分科会



環境講座のようす

環境講座「食と温暖化防止No.2」(7月10日実施、講師・NP法人コミュニティスクール・まちデザイン理事長・近藤恵津子氏)を開催しました。学校で行う授業形式で参加者全員が生徒になり、私たちの食生活がどう温暖化と関わっているかを考えました。先進国のなかでも、とりわけ食料自給率の低い日本。外国からたくさん食料を輸入することは、エネルギーを使い、大量のCO2を排出するばかりでなく、外国の土地や水を使うなど、様々な問題があることを学びました。

受講の目標であった、私たちが講師となり地域や学校に向出

き「食と温暖化防止を考えるための出前講座」を行うため、来年度の事業計画と資料を作成中。また来年度は四季折々の「環境まつり」を思案中です。市内のお店・企業・若年層も楽しく参加できるような環境を考える場を、みんなで創り上げていきたいと思っています。

先日のニュースで、レジ袋削減運動の全国第1位推進県は茨城との報道がありました。県内で先駆け、マイバック運動を日常生活の一部にしてきたひたちなか市。環境を考えたまちづくりの輪を、さらに広げていきましょう。



模擬授業のようす

活動のようす
自然環境分科会

田宮原の「名平洞」汚水浄化実験を、同池に流入する雨水排水路で10月19日に開始しました。浄化材は、底に穴を開けたヤクルト空容器1500個を入れた網袋2袋です。有機物を分解する微生物がヤクルト空容器に定着して汚水を浄化する仕組みです。11月中に更に2袋を追加する予定です。

この実験をより効果的にするため、排水路に浮遊するゴミや枯れた植物を除去する必要があります。なお、空容器を収集している

田中町自治会の皆様のご協力に感謝します。

次に風致地区の森林の間伐や下草刈による保全活動を、美田多地区で、12月18日に予定しています。孟宗竹の間伐と整理が主な作業です。

作業は水戸森林クラブの技術安全指導の下に実施します。近隣の自治会にチラシを回覧して、保全活動するボランティアを募集中です。おにぎりや豚汁の昼食も用意します。奮って応募してください。なお、参加費は200円となります。



ヤクルト空容器設置のようす

活動のようす
ごみ問題分科会

ごみ問題分科会では活発に意見を出し合いごみの分別と生ごみの堆肥化という2本の柱が活動の当面の目標となっています。

これまで毎月分科会を開催しごみ減量と堆肥化の実現に向けて取り組んで参りました。数度に亘る先進地視察を行い仕組みを学ばせてもらいました。

環境への負荷を低減する必要があることに鑑み、循環的な利用を行うため各家庭から出される生ごみを資源として効果的に再利用

し、生ごみの発生抑制・減量化及び生ごみを堆肥にして農地への還元を図る事を、意図として取組むためモデル事業の立上げを企画しております。



意見交換会のようす

会員紹介
NPO 法人生活支援ネットワーク
こもれび

私たち団体は主に福祉活動を中心に運営を行っていますが、最近では、環境対策にも目を向けた活動も行っています。

地球温暖化現象が世界規模で深刻な問題になっている現在、微力ながらも私たちで何かできることはないか・・・という思いがありました。そんな時、ペットボトルのキャップがお金になると言うことと貧困した国の子供たちの病を治

会員企業訪問

私たちの会社は生命をつなぐこと
勝田環境株式会社

1961年創業以来、環境最前線で従業員108名を有して活躍する勝田環境(株)のRC事業部を訪問取材した。

一般及び産業廃棄物の収集運搬・処分業務、浄化槽清掃・維持管理・高圧洗浄業務・土木解体業を行なっている。

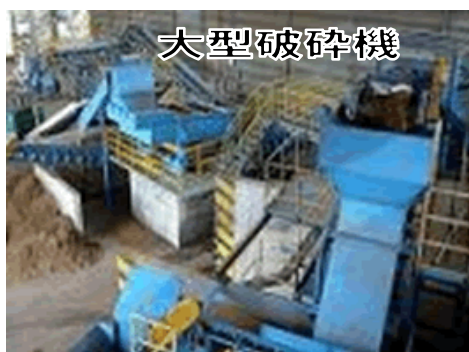
不燃ごみ・廃木材・廃食用油のリサイクルを行い、廃木材は、破砕機により五センチ以下の大きさに細かくされ燃料チップになり、粉状になったオガ粉は、家畜の敷藁や堆肥の原料などにもなっている。

また、回収された廃食用油からは、バイオディーゼル燃料プ



すワクチンに変えることができるということを知り、約2年前から

ラントで、400リットルのBDFが約7時間で製造されている。隣接するサーマル・マテリアルリサイクルを行なう(株)カツ



大型破砕機

タ、木質バイオマス発電を行なう(株)バイオパワー勝田の3社で勝田環境グループ(従業員合計170名)を形成している。



バイオディーゼル燃料プラント

「世界の子供たちにワクチンを」というスローガンを掲げて活動を始めています。最初は法人の会員さん同士で、「散歩のついでにビニール袋を持って・・・」でしたが、今では市内のあちこちの企業、学校、団体などから回収依頼を頂くようになりました。

また、昨年からは勝田環境(株)にも協力を頂き、キャップの運搬業務に携わってもらっています。

今年の10月には、総計55万6千個で695人分のワクチンを「世界のこどもにワクチンを日本委員会」へ寄付することができました。



住所：ひたちなか市津田 2031-797
電話：029-273-8897
E-mail：komorebi@support.email.ne.jp

環境かわら版

第2回

意見交換会開催

平成22年度第2回意見交換会が9月25日(土)大島コミセン・大会議室で開催されました。最初に、各分科会の活動報告がありました。

ごみ問題分科会では、4月に栃木県茂木町と芳賀町の堆肥製造施設を視察し、市内で生ごみ堆肥化のモデル事業を実施するのに必要となる事項を取りまとめた「資源循環型地域形成モデル事業企画書(案)」の概要発表がありました。

温暖化防止分科会では、「大好きいばらきエコチャレンジ2010」のチャレンジ結果報告、蓄熱フェアー見学、7月に開催された

フードマイレージ環境講座について報告がありました。

自然環境分科会では、多良崎城址及び名平洞の見学会実施、名平洞で汚水浄化実験中のヤクルト空容器場所移動の検討、山林保全をイベントとして行うことの検討、などの報告がありました。

各報告後、北島分科会長から生ごみ堆肥化のモデル事業案について、モデル実施地区・生ごみ収集方法など、具体的な説明があり、多数の意見交換が交わされました。

なお、意見交換会は、会の計画・実践の輪を広げる場ですので、ぜひご参加ください。

チャレンジ25キャンペーン ～ 6つのチャレンジ ～

☆地球温暖化はあなたの選択で防止できます

- 1 エコな生活スタイルを選択しよう
クールビズ, MY バッグなど
- 2 省エネ製品を選択しよう
LED 電球, エコカーなど
- 3 自然を利用したエネルギーを選択しよう
太陽光発電, 風力発電など
- 4 ビル・住宅のエコ化を選択しよう
高断熱構造, 複層ガラスなど
- 5 CO₂削減につながる取組を応援しよう
地産地消, カーボンオフセットなど
- 6 地域で取組む温暖化防止活動に参加しよう
地域の環境イベントなどに参加

出典：環境省

環境シンポジウムを開催します！！

日時：平成23年1月29日(土)
午後1時30分～午後4時
会場：ワークプラザ勝田多目的ホール
内容：活動発表(佐野小学校, 津田小学校, 阿字ヶ浦中学校, 東中根団地自治会, 小松製作所)
パネルディスカッション
環境〇×クイズ(賞品あり)
参加費：無料



意見交換会のようす

編集者だより

■梅雨も明けた頃、クーラーの調子を確認・・・なんとリモコンが動作しない、温度調節が出来ないので電気店に取り寄せを依頼するも、時間を要すること、盆明け入手出来ましたが、それまでは、エアコンは使用せずに、庭に散水したり、扇風機で何とか暑さをしのぎました。

今年の冬の暖房は、リモコンで温度調整が出来るので、エアコンかファンヒーターにするか、CO₂排出量(環境省温暖化対策課HPにより)を我が家の使用状態を想定、調べてみるところ、エアコンとファンヒーターではCO₂排出量の差が少ないと知りました。手間や安全を考えるとエアコンが便利で、移動できるファンヒーターも捨てがたく。結論として、温度調整をしながら併用で冬を過ごす事にしました。

余り寒く無い冬だと良いなと思っています。(中村)

■本会が法人格を持つには「NPO法人が良い」と聞き、現役NPO法人理事にお話しを伺うと「無料奉仕の団体ではない！勉強して下さい」とのこと。NPO法人とNPOとは少し違うらしい「法人」を勉強いたします。(若林)